

【討議資料】わが国に漂っている不安感、閉塞感について

不安感・閉塞感

時代背景・潮流

【経済面での不安感、閉塞感】

- 産業構造の転換への対応
 - ・ポスト工業社会のイメージが見えないことによる閉塞感
 - ・次代を担うリーディング産業や成長戦略の不透明性
 - ・地域産業（第1次産業含む）の疲弊による地域経済の閉塞感
 - ・公共事業の縮減による建設業の疲弊
- 労働市場の二極化、流動化、
 - ・正規労働者の減少と非正規労働者の増大
 - ・失業者の増大と雇用のミスマッチ
 - ・公共事業の縮減による雇用の場の縮小

【生活面での不安感、閉塞感】

- 所得の確保と自立に対する不安
 - ・所得格差と低所得者層の固定化
 - ・生活困窮者、障害者、母子家庭、若者の自立
- ライフステージごとのセーフティネットの機能不全
 - ・子育てに対する不安
 - ・教育に対する不安
 - ・医療、健康に対する不安
 - ・老後、介護に対する不安
- 家族や地域との絆の希薄化に対する不安

【政治面での不安感、閉塞感】

- 不信感
 - 年金・医療等の制度の持続性等への不信感
 - 政策決定過程に対する不信感（族議員の存在、官僚主導等）
 - 情報提供の不足、コスト感覚の不足 度重なる不祥事の発生 等
- 不公平感
 - 都市と地方との格差 世代間・男女間の格差 税負担の不公平感 等
- 閉塞感
 - 中長期的な国家ビジョンの欠落 制度的補完性と抜本改革からの逃避
 - 増大する財政赤字 等

少子高齢化

人口減少

社会の成熟化

制度疲労

東京一極集中

価値観の多様化

生き方へのこだわり

グローカリゼーション

地球との共生